11 月 2-8 日

エレミヤ 49-50 章

---

1 番の歌と祈り | 開会の言葉（1 分）　吉田 忍 | 長谷川 貴史

神の言葉の宝



1. 憐れみにあふれるエホバに協力する（10 分）　田中 慶一

エホバが罪とプライドにまみれたバビロンを責めたのは当然のこと。（エレ 50:14，29，31。洞「せん越」11 節）

でも心を入れ替えたイスラエル人のことは徹底的に許した。（エレ 50:20）

そんなエホバに見習いたい。いろんな信条の人に優しく真理を伝え，エホバから見て正しい崇拝ができるよう助けたい。（エレ 50:2，8。塔 08 6/15 8-9 ページ 8-11 節）

2. 宝石を探し出す（10 分）　伊藤 勇一

エレ 50:24 バビロンよ，私はわなを仕掛け， あなたは気付かずに捕まった。 あなたは見つかり，捕らわれた。 エホバに敵対したからである。

エホバはどうやってバビロンを「わな」にかけましたか。（洞「仕掛け，わな」4 節）

わなが比喩的な言い回しに用いられる別の面は，気づかないうちに捕らえてしまう作動の速さです。例えば，バビロンはメディア人とペルシャ人の前に突如，何の前触れもなく陥落したため，それはあたかもエホバがバビロンに対してわなや仕掛けを作動されたかのようでした。—エレ 50:24。ルカ 21:34，35 と比較。

今週の範囲からどんな宝石を探し出しましたか。

（エレ 50:29，31，32）僭越で反抗的な大いなるバビロンの荒廃が近づいていて必ず到来することと、どんな酷い最期を迎えなければならないかを予期し確信できる。それで私たちの宣教活動に対する真剣さもエホバへの信頼との愛の表明となるので、常にその取組み方の改善に努めて、人々の救いについて決して諦めないようにしたい。

3. 聖書朗読（4 分）エレ 50:24-40（教励 第 11 課）　米山 英行 教励 11

伝道を楽しもう

4. 会話を始める　宮崎 倫子 愛込 1–5 奥村 由美

（3 分）家から家の伝道。1 つ聖句を伝える。「愛を込めて」の冊子の付録 A からも選べる。（愛込 レッスン 1 ポイント 5）

5. 再び話し合う　金刺 由里子 愛込 9–3 李 雅楠

（4 分）家から家の伝道。用意していたのとは別の話題を相手が話したいと思っている。（愛込 レッスン 9 ポイント 3）

6. 教えて育てる　大谷 恵美子 愛込 11–4 荻原 幸子

（5 分）暮 レッスン 20 ポイント 4（愛込 レッスン 11 ポイント 4）

クリスチャンとして生活する

44 番の歌

7.「エホバが覚えていることを忘れてはいけない」（15 分）討議。　星 延宏

動画を再生する。次の質問をする。・どんなことを学びましたか。⇒①快く許してくださるエホバに習うことで仲間との絆を強め、②犯してしまった失敗をエホバは許してくれると確信できるよう仲間を助けること。**エホバがもう覚えていない自分の過去の過ちを私たちも忘れる**ようにし、**私たちが土で出来ていて過ちを犯しやすいことをエホバが覚えている**ことを決して忘れない。

8. 会衆の聖書研究（30 分）勇 15 章　有田 悟｜梅原 直行

閉会の言葉（3 分）｜33 番の歌と祈り　田中 慶一

^ （エレ 49:1-50:46） アンモン人について。エホバはこう言う。 「イスラエルに子はいないのか。 相続人はいないのか。 なぜマルカムがガドを手に入れたのか。 なぜマルカムの民がイスラエルの町々に住んでいるのか」。 2 「エホバはこう宣言する。 『私がアンモン人のラバに戦いの合図*を聞かせる時が来る。 彼女*はがれきの山となり， 周辺の*町々には火が放たれる』。 『イスラエルは，自分の土地を奪った者たちを所有することになる』と，エホバは言う。 3 『ヘシュボンよ，泣き叫べ！ アイは滅ぼされたからだ。 ラバの周辺の町々よ，叫び声を上げよ。粗布をまとえ。 泣き叫んで，石の囲い*の中を歩き回れ。 マルカムは捕囚の身となる。 自分に仕える祭司や高官と共に。 4 不忠実な娘よ，なぜあなたは谷*について， 肥沃な*平原について自慢するのか。 あなたは自分の財宝に頼り， 「誰が私の所に攻めてくるだろうか」と言う』」。 5 「主権者である主，大軍を率いるエホバはこう宣言する。 『私はあなたに恐ろしいことが起こるようにする。 それはあなたの周囲から来る。 あなた方はあらゆる方向に散らされ， 逃げる人たちを集める者は